

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	感染症危機管理費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)	関係する計画、通知等	感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	感染症危機管理体制の整備と強化を図るための検討会の開催及び感染症に関する相談窓口の設置経費及び病院内での院内感染を防止するための自治体職員や医療機関関係者等に対する感染症に関する研修経費及び感染症指定医療機関等の医師に対して、海外の感染症例の診察・診療を行うための研修を実施している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	24	22	16	15	12
		補正予算					
		繰越し等					
		計	24	22	16	15	12
		執行額	15	15	12		
	執行率(%)	62.5	68.2	73.6			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当該事業は、国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としており、各事業における具体的な成果目標値等は設定は困難である。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当該事業は、国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としており、各事業における具体的な活動指数は設定は困難である。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
				—	—	( )	( )
単位当たりコスト	— (円/—)	算出根拠		—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務庁費	11	9				
	委員等旅費	3	2				
	職員旅費	1	1				
	計	15	12				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	感染症の発生・まん延を防止するために必要な関係機関の連携体制の整備及び医師の養成等は重要であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症の発生・まん延を防止するためには、広域的な対応が必要であり、国の関与のもと、適切かつ迅速に実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	感染症等が発生した国への現地派遣費等を使用する状況がなかったため不用が生じたものである。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随意契約で行っている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染症の発生・まん延を防止するために必要な関係機関の連携体制の整備及び医師の養成等を実施するために真に必要なものとしている。
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	研修を受講した医師を講師とし、各地域で勉強会を行い研修で得た内容を共有するなど成果物は十分に活用されている。
点検結果	<p>平成22年度予算において、感染症危機管理連携等事業を感染症危機管理体制整備事業と統合し、対前年度90.1%(△2,382千円)の規模に見直しを図ったところ。  今後も事業内容を精査しながら感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため引き続き事業の実施していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業は、毎年度恒常的に不用が生じているものの、感染症危機管理体制の整備、強化を図るための検討会の開催及び感染症に関する自治体職員等に対する研修等に必要な経費であり、危機管理の観点からも、事業内容及び予算規模を維持すべきであることから、引き続き、効率的な予算執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0141	平成23年行政事業レビュー	095

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

厚生労働省 12百万円



【随意契約】

A 民間会社(1社) 0.7百万円

感染症に関する適切な情報を提供する

うち事務費 11.3百万円

A.(株)太陽美術			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	動物由来感染症広報用ポスター作成に関する経費	0.7			
計		0.7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	動物由来感染症広報用ポスター作成に関する業務	0.7	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					